

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	・高齢者福祉 ・高齢者虐待防止 ・専門職連携教育（IPE）& 専門職連携実践（IPW）				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年 首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	1989年 国立国際医療研究センター国府台病院看護部、1992年 国立がん研究センター東病院看護部 2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科 講師 2018年 社会福祉子ども学科 准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会（IPW委員会）				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	地域介護予防把握事業委託業務 八潮市地域包括ケアシステムモデル地区 (伊草団地)実態調査報告書	共著		八潮市、80ページ	八潮市長寿介護課 埼玉県立大学八潮市モデル地区調 査プロジェクトチーム 木下聖、小川孔美	2020年3月
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	地域で共に生きるための居場所	共同		埼玉県立大学	○小川孔美	2019年5月
3	地域ケアシステムを構築するために	単独		越谷市	○小川孔美	2020年1月
4	伊草団地のこれからの暮らしを考える	単独		八潮市	○小川孔美	2019年9月
5	終活ではなく全うしてこそ	共同		埼玉県立大学	○小川孔美	2019年11月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	平成30年度（第49回）三菱財団社会福祉 事業・研究助成			地域連携・協働を基盤とした住民 主体による課題解決力強化のため の包括的相談支援体制モデルの構 築、	研究代表 小川孔美・研究分担者 木下聖	1年半（2018年10月～2020年4月）
2	八潮市地域介護予防把握事業に係る業務 支援業務委託			八潮市地域包括ケアシステムモデ ル地区実態調査	研究代表 木下聖・研究分担者	2019年4月～2020年3月
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	高齢者福祉論	○	15	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、 介護保険制度の最新情報を取り入れた講義を展開		

2	社会福祉概論		15	対象が1年生のため、社会福祉の基本的概念が深まり、興味、関心が持てる内容を題材とし、特に社会福祉の歴史、多職種による連携、高齢者福祉について動画等を導入し、講義した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習Ⅰ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
1	社会福祉演習Ⅱ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
1	社会福祉演習Ⅲ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
1	社会福祉演習Ⅳ	○	15	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークを取り入れている
2	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案（支援プログラム）の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ	○	学外：2020年2月～3月：1	新型コロナウイルス対策について、教員間および学生に周知し徹底した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	15	SW実習Ⅰに向けて、事前学習が深められるよう、各種資料等の提供を豊富に準備した
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	7	SW実習Ⅰの体験をさらに深めるための助言及び報告書作成について個人の持つ思いを大切に指導した。
4	IPW実習		2019.4～2019.10	対象施設のFTと綿密に連絡をとりながら学生が学びやすい環境を確保し、FTの原則にもとづき指導した
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業課題研究指導		2019年4月～11月	主指導 5名 副指導 2名
2				主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
3				主指導（指導教員） 名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	サークル活動顧問4サークル【学生ボランティア団体MAGO、子育て食堂たんぼば、卓球 S-MASH、僕らの夏休みProject 埼玉県立大学支部】		2019.4～2020.3	○照林社プチナース「みんなの学校じまん」2020年3月vol129.No3に埼玉県立大学学生ボランティア団体MAGO（まご）が取材を受け掲載される。 ○2019年10月5日「学生子ども食堂ネットワーク全国大会」、2020年2月18日「子育て食堂フォーラム」での登壇を指導、また埼玉県との連携をはかる
2	IPW総合課程（大学院）		2019.9～2019.12	IPWに必要とされるファシリテーションスキル
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	高齢者福祉について	春日部市	春日部市ふれあい大学院	2019年7月
2	春日部市で老いるということ	春日部市	春日部市ふれあい大学院	2019年7月
3	大学院教育におけるIPE推進のためのシンポジウム	首都大学東京	多職種連携教育（IPE）の現状	2019年6月
4	埼玉埼葛南専門職連携推進ねっとわーく 研修会	埼玉埼葛南専門職連携推進ねっとわーく	生き抜く力。終活ではなく“全う”してこそ～医療・福祉の専門家と一緒に“最期”を語ろう～ 「人生会議」（ACP/アドバンス・ケア・プランニング）	2019年11月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 地域ケア総合評価機構	理事		2011～現在
2	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会	世話人委員		2015～現在
3	NPO法人地域でともに生きるナノ	理事		2018～現在
4	蓮田市 地域包括ケア推進代表者会議	顧問		2018年4月～現在
5	八潮市地域包括支援センター運営協議会委員	運営協議会委員		2019年7月～現在（2022年6月30日までの予定）
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	広報こしがや「健康情報コラム」	自分自身で意思決定することを大切にするために		2019年8月号
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会 入試実施部会 オープンキャンパス		2019年4月～2020年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域専門職連携推進部会		2019年4月～2020年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事		2019年4月～2020年3月
4	全学的委員会及びセンター業務等	SPU学会学術集会運営委員		2019年4月～2020年3月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	2019年度学生表彰（学生ボランティア団体MAGO,子育て食堂たんぼぼ）	埼玉県立大学		2020年2月
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			